

授業科目名	公衆衛生看護とヘルスプロモーション	担当教員	◎川上裕子、鶴岡章子、佐々木亜希子、 笹子洋子、栗原美由紀、鈴木早苗、 茅谷志津子	科目ナンバリング NM262
必修	開講年次：2年後期	単位：1単位	授業形態：講義15時間	

### 【授業概要】

公衆衛生看護の概念と公衆衛生看護活動を担う保健師の役割・機能と活動の場について理解する。特に、保健所保健師や市町村保健師の役割と活動の特徴について理解を深める。また、地域に顕在および潜在している健康課題を把握・分析し、ヘルスプロモーションの理念に基づいた個別および集団支援、地域づくりの方法について学修する。

### 【達成目標】

1. 公衆衛生看護の概念、活動の場の特性、保健師の役割と機能を理解する。
2. 保健所保健師および市町村保健師の役割を理解する。
3. 地域に顕在および潜在している健康課題を把握・分析する手法を理解する。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- |                                                                   |             |
|-------------------------------------------------------------------|-------------|
| [01] 授業オリエンテーション、公衆衛生看護の定義、目的、活動の場<br>保健所保健師と市町村保健師の役割と機能および活動の特徴 | (川上)        |
| [02] 市町村保健師の役割と機能および活動の特徴                                         | (笹子)        |
| [03] 健康管理支援失・健康施設の看護                                              | (栗原)        |
| [04] 健康維持施設(透析)の看護                                                | (鈴木)        |
| [05] 学校保健活動                                                       | (茅谷)        |
| [06] 地域診断の目的と方法(コミュニティ・アズ・パートナーモデル)                               | (川上)        |
| [07] 地域診断の実際①                                                     | (川上・鶴岡・佐々木) |
| [08] 地域診断の実際②                                                     | (川上・鶴岡・佐々木) |

### 【教科書】

荒賀直子・後閑容子他(2022)：公衆衛生看護学.jp(第5版データ更新版)，インターメディカル。

### 【参考書】

厚生労働統計協会：国民衛生の動向(最新版)，厚生労働統計協会。

### 【評価方法・評価基準】

定期試験：70%、課題レポート：30%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：新聞、メディアの情報等に関心をもち、現代社会における健康課題と公衆衛生看護活動の関連について理解しておく。(2時間)

事後学習：各回の授業内容を授業時に配布した資料や教科書等で復習しておく。(2時間)

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ、ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

### 【備考】

本科目は、1年次の「地域の健康と看護」を基盤とし、かつ後に続く公衆衛生看護学関連科目の基礎となる科目である。

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目